

2024 年 12 月 15 日（日） 鎌倉アルプス 天園ハイキング

令和6年の忘年登山として、クマさん会では16年振りの「鎌倉アルプス 天園ハイキングコース」を選びました。北鎌倉の「建長寺」からコースに入って「瑞泉寺」に下り、鶴岡八幡宮を参拝するルートです。

鎌倉を囲むようにして連なる鎌倉アルプスを、富士山を眺めたり、相模湾を見下ろしながらゆっくりと歩きました。少し鎌倉の歴史にも触れることが出来ました。



ハイキングが終わったあとは、JR 鎌倉駅から久里浜駅に向かいました。クマさん会メンバーに評判の良い久里浜港の「海辺の湯」で汗を流し、港でも眺めながら乾杯することにしました。

参加者は、熊本さん、能勢さん、池戸さん、高橋文さん、小野寺さん、吉松の6名です。

レポート：吉松



集合は8時30分、JR 北鎌倉駅東口

風が無い晴天となった。





北鎌倉駅からすぐの「円覚寺」入り口

紅葉が見事であった。

「北条時宗公御廟所」の標識が建っている。

蒙古襲来の対応に神経を使い果たしたのか、早く薨去している。

享年34



線路沿いを少し鶴岡八幡宮方面に歩くと、すぐに「建長寺」に至る。



「建長寺総門（巨福門）」をバックに写真



（巨福門）

天園ハイキングコースの入り口にもなっており、拝観料500円を納める。

見事な境内が広がっていた。

建長寺には国宝や重要文化財が多く、しばし散策することにした。



三門（重要文化財）



三門扁額



小野寺さんと梵鐘（大きさが良く分かる）



梵鐘（国宝 2.7トン）



柏楨
（かながわ銘木百選）



仏殿（重要文化財）



安置されている地藏菩薩坐像



法堂（重要文化財）に安置されている釈迦苦行像



法堂天井絵 雲竜図

【建長寺のパフレットから・・・】

＊建長寺には「唐門（重要文化財）」「龍王殿」や「庭園（名勝史跡）」「虫塚（養老孟司氏建立）」など、まだまだ見どころは沢山あります。

＊「けんちん汁」は有名ですが、精進料理の「建長汁」が全国に広がったものだそうです。

法堂を抜けて、半僧坊道を進んだ。道すがら紅葉を楽しむことが出来た。



やがて、半僧坊を祀るお堂へ向けて登る
長い階段の入口に到着

ここからは、階段のきつい登りが続く。

息を弾ませながら長い、長い階段を登って行った。





10数分登り続けて、やっと獅子像のいる踊場へ到着

踊り場には、半僧坊に仕える12体の天狗像が睨みを利かせていた。

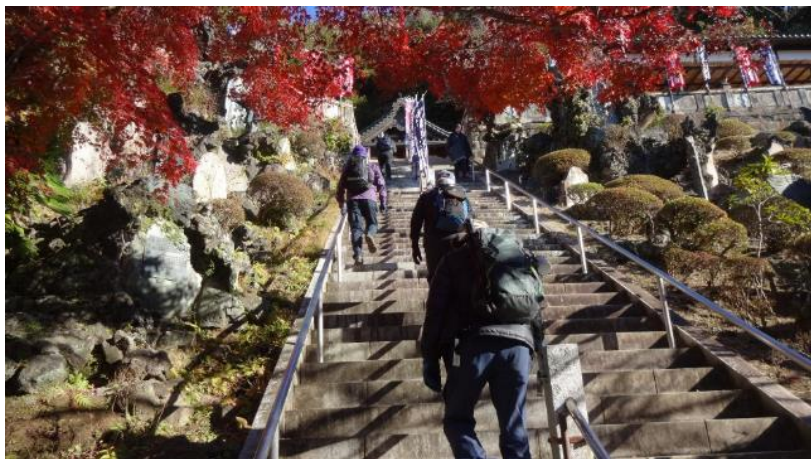


←踊り場から見上げれば半僧坊を祀るお堂が目の前だ。

半蔵坊に仕える12体の天狗像



踊り場からもう一つ階段を登りきると、半僧坊を祀るお堂に到着



9時18分にお堂着。半僧坊お堂境内からの眺めは最高だった。



雪をかぶった富士山



目を転ずると、はるか彼方に相模湾が広がる

富士山をバックに記念写真



お堂から先は山道らしくなる。



勝上嶽（しょうじょうけん）に至る登り



勝上嶽

かつては見晴らしが良かったようだが、樹木が伸びてしまって今は眺望を楽しめないようだ。

ここから先は「天園ハイキングコース」となる。多少のアップダウンはあるが、比較的平坦な道が続く。



勝上嶽からハイキング道への下りは、最初の難所

自転車とぶつかって左ひざを痛めた能勢さんにとっては、試練の下りであった。

【なぜ能勢さんは左ひざを痛めたか？】

道路横断中に自転車とぶつかって、転倒したそうです。 当たりどころが悪くて、左ひざを痛めてしまったようです。来年年初の大山登山参加は思案中。但し、不思議とゴルフプレイには支障無しとか。



そこからすぐに十王岩

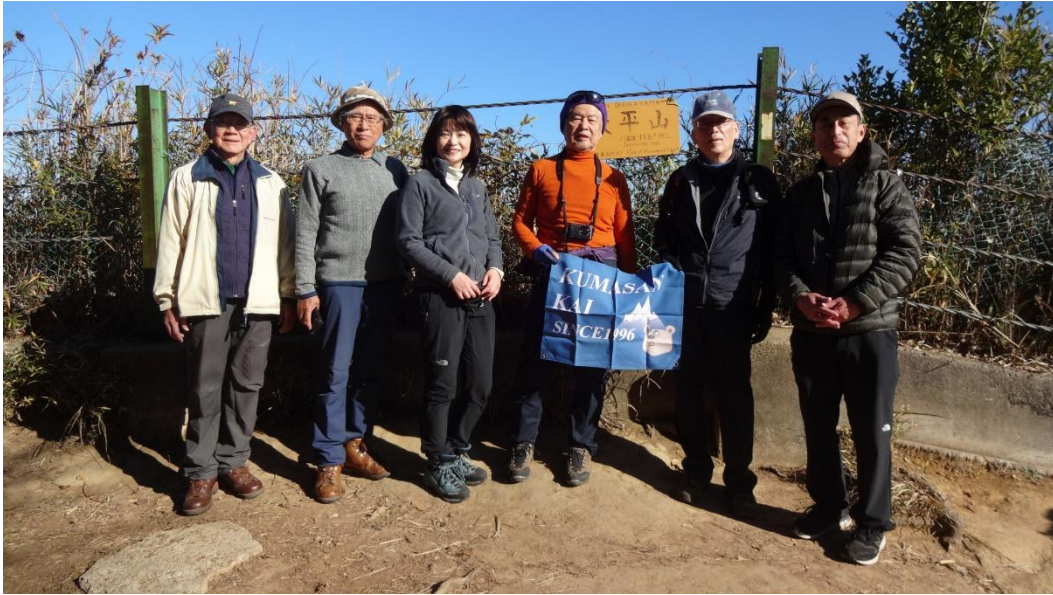
大きな岩に仏像が彫られている。



30分程ハイキングコースを歩いて、10時15分到大平山に到着した。



鎌倉市最高地点「大平山（おおひらやま）」（159m）



大平山からは、瑞泉寺に向けて比較的緩やかな下りが続いた。
下りにめっぽう強い熊本さんが、常時先頭を歩いて引っ張っていった。



11時10分 瑞泉寺の登山口に無事到着



瑞泉寺は四季折々の花が楽しめる庭園が見事とか。今回は中までは入らなかった。



瑞泉寺入口の最初の門
瓦屋根に、「瑞泉寺」の文字が見える。



瑞泉寺から歩いて15分足らずで、良く整備された「永福寺跡」に到着
陽だまりで昼食をとることにした。能勢さん持参のワインで乾杯！



この辺りの小山の中には、トンビの巣がある。

うかうかすると、人間が持っている食べ物をトンビがかすめ取っていくそう。盗られないように用心しながら食事を楽しんだ。



永福寺跡の見事な紅葉

今回のハイキングで一番の紅葉か！

昼食を終えて、鎌倉宮経由で鶴岡八幡宮へ向かった。車の少ないわき道を歩く。

＊「鎌倉宮（写真左端）」は明治に入ってから創建された旧官幣中社なので、左程歴史のある神社ではないが、七五三お宮参りの時期などは大層賑わう。





鶴岡八幡宮をお詣り

倒れた銀杏の木もかなり大きくなっていた。舞殿(↓)では青空の下で神前結婚式



飲食店や土産物屋が軒を連ねる鎌倉小町通りを歩いて鎌倉駅へ



所用のある小野寺さんとは鎌倉駅でお別れ

残りの男性5人は JR で久里浜駅に向かって、クマさん会ご最員の、久里浜港「海辺の湯」に向かうことにした。

久里浜駅からタクシーで5分程走ると、目指す「海辺の湯」が久里浜港フェリー乗り場の横にあった。



「浜辺の湯」の何がクマさん会のメンバーを引き付けたかという、

「入浴、生ビールジョッキ&船盛つまみセットで1380円也」



温泉でひと汗流し、早速セットメニューで舌鼓を打った。



確かに安い！ 船盛には、鶏のから揚げ3ヶ、枝豆が沢山、じゃがいもから揚げも沢山のついていた。入浴だけでは950円、生ビールジョッキ単独では750円だから、このセット価格は超格安だ！

当然、我々は生ビール一杯では満足できずアルコールの追加となった

今後の覚えの為に、船盛りのおつまみのことや、アルコール追加注文時のイロハなどを以下に載せておきます。

【「海辺の湯」で寛ぐときの、いくつかの知識と知恵を紹介】

*その1

船盛りのつまみは食べきれないほどの量が出る。

食べ物を捨てるのは罪深いので、テイクアウト用の袋必携（今回は熊本さんがビニール袋を持参）

*その2

アルコール追加注文の時、焼酎の水割りは要注意。極めて薄いので飲んべーには物足りない。

熊本さんが口を付けたとたんに、「これは水か？」というほどだから相当薄い。

*その3

毎月11日、15日、26日限定で、グラスビールの価格（390円）で中ジョッキ（750円）が飲める。これは相当お勧め！

*その4

船盛と聞いて、魚類の船盛を想像することは厳禁

吉松は、「漁港でもあるし、船盛と言えば新鮮な魚が盛ってある」と思いこんでしまった。

これは、とんでもない早とちりであった。

なんだかんだと話し込んでいる内に帰宅時間が来た。



フェリー乗り場休憩所で久里浜行きのバスを待つことにした。

今年の忘年登山は、風が無く真っ青な空が広がって最高のタイミングに決行できました。日本一の富士の山も見ることが出来ました。良い1年の締めが出来たと思います。